

在宅医療向けソリューション

モバイルプリンターの活用で 在宅医療の業務効率化

課題

在宅医療の加点到に伴い、取り組みを始める医院が増加。外来の合間に訪問を行うことは、医師にとって大きな負担。業務負担を減らし、診療効率を高めたい。



解決

そこで！ブラザービジネスソリューション

モバイルプリンターと電子カルテシステムとの連携で、業務効率化に貢献。

- 患者様宅で処方せんや診療情報提供書の発行が可能。
- 約8枚/分と印刷スピードも速く、印刷にかかる時間を最小限に抑える。
- コンパクトサイズ、約610gの軽量設計で、荷物の多い先生の負担を削減。

おすすめ商品 PJ-763MFi



● 院内業務削減

院内に戻ってから帳票出力作業を行っていたため、残業になっていた。

➡ 現場で帳票を発行しお渡しすることで、院内業務や残業時間を削減。

● 患者サービスの向上

その日の診療内容等を患者様にPC画面で説明。患者様はご高齢な方が多いため上手く伝わっているか不安。

➡ 紙での伝達が可能に。連絡事項等も書き込むことで、患者様ご家族との情報共有ツールとしても活躍。患者サービスの向上を実現。

活用事例

ココカラハートクリニック 伊藤先生



時短 & コンパクトが導入の決め手

- 電源ONからの印刷が速いため、印刷のための無駄な待機時間を削減。患者様を待たせる時間もなく、診療の効率化を実現できました。
- コンパクト・軽量で持ち運びの負担になりません。
- 終日の外出でも安心の大容量充電電池で電池切れを意識することなく、診療に集中できます。